

1007 探究をさらに深めていこう！

1. 今後のスケジュールについて ***先の見通しをもって進めること！**

回	日時	内容	課題等
10	9/16	進捗状況報告会	
	9/23	祝日	
	9/30	期末試験 4 日目	方針整理 + 実践記録
12	10/7	探究(課題解決に向けて)	各自 FW など
13	10/14	探究(課題解決に向けて)	各自 FW など
14	10/21	探究(中間報告会準備)	各自 FW など
	10/28	研究授業日により特別時間割	
15	11/4	中間報告会(講師 3 名をお招きしての発表会)	助言を踏まえて方針の整理
16	11/11	第 1 回ゼミ + 探究	各自 FW など
17	11/18	探究	各自 FW など
18	11/25	探究	各自 FW など
	12/2	後期中間試験	ゼミ資料作成
19	12/9	第 2 回ゼミ + 探究	各自 FW など
20	12/16	探究	各自 FW など
21	12/23	自己省察 + 冬休みの活動計画	各自 FW など
		～冬休み期間～	ゼミ資料作成
	1/13	第 3 回ゼミ + 探究	

【中間報告会までの目標！】

仮説を立て、課題解決に向けた具体的な取り組みを行い、サイクルを 1 回まわす

2. 中間報告会に向けて ***スライドの構成について**

(1) テーマ ***良い研究ほど焦点化されたテーマになります！**

☆自分たちの探究内容が一番伝わるタイトルを！

方法 主題 + 副題をつけて補足する

→ 主題：自分たちの探究のメインテーマ

副題：研究対象や RQ を反映した問い

- ・ 「～はすべきか」「～は有効か」「～を～するには」などどういう着眼点がわかるとよい
- ・ 例 「旭座の活用 ～若者向けの季節イベントは集客拡大につながるか～」

(2) 課題を設定した理由 = (背景・目的) ☆問題と意義を明確に

方法①個人的な関心と社会的な背景

- ②問題の所在 (いったいなにが問題なのか)
- ③その研究の意義(そのテーマに取り組みことにどのような価値があるのか。)
 - ・現状を示す統計データ、専門家の語り、アンケート調査の結果、先行研究などから 現状の何が問題であるかを明示する! (=課題発見能力)
 - ・その問題に取り組むことにどんな社会的な意味があるかを明確に!
 - 社会問題が解決される、現状困っている人が救われる、新しい発見につながる・・・など

(3) 仮説 「～を～すると～になるのではないか」 ☆仮説構築までのプロセスも明示する。

発見した課題に対して、先行研究の取り組みやベストプラクティス(解決事例)を参照して、仮説が構築されるまでのプロセスを明示する

(4) 方法

- ①誰を対象に(ターゲット)どんな方法を行ったのか
- ②実験のプロセスや検証のプロセスを具体的に明示する*アンケートや聞き取り調査の項目を明示

(5) 結果 ☆どのような事実が観察・測定・記録されたのかを明示する

- ・聞き手がわかりやすいようにデータをグラフや表にして工夫する
- ・推論は書かない!事実のみを書くこと!

(6) 考察 ☆結果で得られた事実から考えたことを明示する!

事実から推論されることを書く(ただし根拠のない推論や単なる感想は書かない)

～考察の事例～

- ・結果をもとにしてさらに言えることを推量する(データが示す意味、データ間の関係)
- ・なぜそのような結果が出たのかを推量する
- ・仮説を検証する(予想と結果が一致したのかどうかの判断、一致していた場合はなぜ仮説が違ったのかを考える)
- ・実験方法や検証方法に対する考察→問題点はなかったのか?改善点は何か?

(7) 課題

- ・現在のところの課題(困りごと、相談事項)

(8) 参考文献・先行研究・資料出典

- 1) (書籍): 山口百恵, 蒼い時, 集英社, 1980.
- 2) 小浜市役所サイト (最終閲覧日: 2013年5月4日) <http://○○○○○○○○○○>

3. ゼミについて

今後の授業では**定期的に「ゼミ」を開催**していきます！

Q.何をするのか？

→その時々進捗や相談事項をゼミメンバーに報告してもらいます。

また毎回構成メンバー(教員・生徒)を変えることで新しい視点からのアドバイスがもらえるようにします。予定では4つのゼミにわかれて(1ゼミあたり3テーマ)1テーマ5分程度で報告+質疑助言10分~15分程度の予定。*だいたい5時間目+αのイメージ。

Q.狙いは何か？

- ①定期的に開催することで皆さんが探究にスケジュール感をもって進められるようにしたい
= **先の見通しをもって行動する力の育成**
- ②教員からのアドバイスだけでなく、生徒の皆さん同士で助言をシェアすることでより良くしてほしい
= **批判的思考力、協働力、対話力の育成**
- ③他のグループや個人の探究から様々な刺激を受けてほしい

4. 本日(10月7日)の流れと内容

- ①作成してきたスライドをもとに担当教員に今後の方針を説明
→担当教員による質疑助言
- ②今後の見通しを確認 →誰がいつまでに何をするのか
- ③探究を進める！